

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.79

環境地球温暖化対策室

☎295100

温暖化と異常気象

今年の夏は東北地方と日本海側の地域を中心に大雨が降り、大きな被害をもたらしました。山口県と島根県における7月28日の大雨では、山口市で最大1時間降水量143ミリ、萩市須佐では138.5ミリを記録しました。

また全国的に暑さが強まり、西日本では夏の平均気温が平年に比べて最も高くなりました。高知県四万十市では8月12日の日最高気温が41℃となり、日本の日最高気温の記録を更新しました。

さらに9月2日と4日には、埼玉県や栃木県などで竜巻が発生し、屋根が飛散するなど大きな被害がもたらされました。

この100年間で、海面水温の上昇



は世界各地で確認され平均で0.5℃上がっていることが報告されています。日本近海の海面水温も平年より高くなっており、その影響により北海道沖で、低水温を好むサケが減少し、温暖な海域に生息するマンボウなどが見られるようになっていきます。

温暖化により海水温が上がり、大気を暖めたり、海から蒸発する水蒸気を増やしたりすることが、このような異常気象を引き起こす要因の一つであると考えられています。

将来世代のためにも、温暖化を引き起こす主な原因である二酸化炭素の排出を少しでも減らすために、私たちの身近な暮らしを見直してみることが大事なのではないでしょうか。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所



紙製品の分別はどうやって…?

ティッシュやお菓子の箱、包装紙、カタログなどの紙製品は資源品です。

焼却ごみに入らず、雑紙類として資源品の日に出してください。出す時の注意点としては、ビニール部分など紙以外のものは取り除いてください。(ごみ収集カレンダー13ページを参照)。

回収された資源品は再び紙に生まれ変わります。段ボール・雑誌など幅広く利用されています。

紙製品を分別することとは、焼却ごみの減量と資源の有効活用につながります。ご協力をよろしく願います。



▲紙製容器包装認識表示マーク

■ごみ処理家計簿

減量効果		8月分(前年同月比)
増	処理費用換算	-760万円
減	排出量(1人1日当たり)	870g(-53g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。

▲雑紙類(ティッシュ・お菓子の箱、封筒、レシートなど)